

# 環境情報検証報告書

理想科学工業株式会社 御中

## 1. 検証の対象

一般財団法人日本品質保証機構(以下、「当機構」という。)は、理想科学工業株式会社が作成した「2024年度 RISO グループ 温室効果ガス排出量(スコープ 1,2) 算定報告書」及び「2024年度 RISO グループ 温室効果ガス排出量(スコープ 3) 算定報告書」(以下、「算定報告書」という。)に記載された2024年度の Scope 1、2、3の温室効果ガス(以下、「GHG」という。)排出量が、同社により作成された「RISO グループ 温室効果ガス(GHG)排出量算定ルール Scope1,2 Ver1.2」、「RISO グループ 温室効果ガス(GHG)排出量算定ルール Scope3 Ver2.2」、並びに GHG Protocol(事業者排出量算定報告基準改訂版)(以下、「算定ルール」という。)に準拠し、正確に測定、算出されていることについて第三者検証を行った。2024年度とは、2024年4月1日から2025年3月31日までの期間をいう。検証の目的は、「算定報告書」を客観的に評価し、同社の GHG 排出量の算定の信頼性をより高めることにある。

## 2. 実施した検証の概要

当機構は、「ISO14064-3」に準拠して検証を実施した。本検証業務の対象活動範囲は、Scope 1、2(ロケーション基準及びマーケット基準)及び Scope 3(カテゴリ 1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15)の GHG 排出量であり、保証水準は「限定的保証水準」、重要性の量的判断基準値は検証対象の総排出量における5%とした。また、本検証業務の対象組織範囲は、理想科学工業株式会社及び連結子会社25社の計26社(国内外120拠点)とした。

検証では、本社において、「算定ルール」の確認を実施し、Scope 1、2については、サンプリングにより顧客の指定により選定した国内4拠点(芝千歳事業所、理想開発センターⅡ、つくば営業所及び筑波事業所)にて現地検証を行った。現地検証では、各拠点における算定対象範囲の確認、排出源及びモニタリングポイントの確認、算定集計体制の確認、排出量データについて根拠資料との突き合わせを行った。Scope 3については、算定対象範囲の確認、算定シナリオとアロケーションの確認、算定集計体制の確認、排出量データについて根拠資料との突き合わせを行った。

## 3. 検証の結論

検証の対象とした、「算定報告書」の2024年度の GHG 排出量において、「算定ルール」に準拠せず、正確に算定されていない事項は発見されなかった。

## 4. 留意事項

「算定報告書」の作成責任は理想科学工業株式会社にあり、GHG 排出量の検証の結論に関する責任は当機構にある。理想科学工業株式会社と当機構との間には、特定の利害関係はない。

東京都千代田区神田須田町一丁目25番地

一般財団法人日本品質保証機構

常務理事 浅田純男

